

## 温度感受性TRPチャネル の構造と機能

講師：富永 真琴 特任教授  
名古屋市立大学

なごや先端研究開発センター 温度生物学研究室

日時：2025年2月10日（月） 17:00～

場所：名古屋市立大学桜山キャンパス

医学部研究棟11階 講義室B

本セミナーはZOOMによるオンライン配信も致します。オンラインでの参加は下記URL又はQRコードからログインしてください。

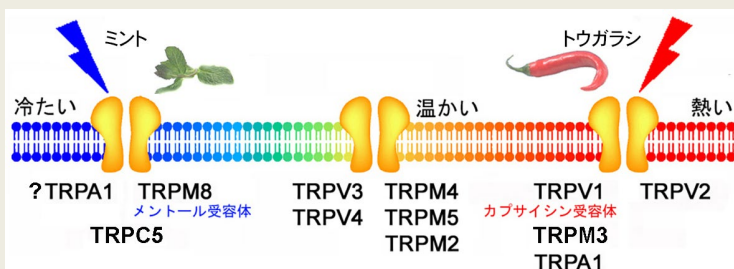
URL：<https://us06web.zoom.us/j/87581840844>

ミーティング ID: 875 8184 0844 パスコード: 20250210



温度感受性TRPチャネルは現在11知られています。最初の分子はカプサイシン受容体TRPV1で、1997年に遺伝子クローニングされました。この発見に対してアメリカ カリフォルニア大学サンフランシスコ校のDavid Julius教授に2021年にノーベル生理学医学賞が授与されました。私は、TRPV1の遺伝子クローニングと機能解析に関わってから28年間、温度感受性TRPチャネルを介した温度感知のメカニズム解明に関する研究に携わってきました。温度感受性TRPチャネル11すべての構造は、低温電子顕微鏡を用いた単粒子解析によって原子レベルで明らかになっていますが、未だに温度がどのようにしてチャネル化開口をもたらすかは明らかではありません。

今回は特に、温かい温度で活性化するTRPV3, TRPV4を中心に、その生理機能のお話をしたいと思います。



世話人：山川和弘（医学研究科・神経発達症遺伝学分野）

TEL: 052-851-5612, E-mail: yamakawa@med.nagoya-cu.ac.jp